

春を呼ぶ 宮島清盛まつり

宮島を彩る、華やかな平安絵巻

3月23日、晴天の中、宮島で平家一門の厳島神社参拝をモチーフにした「春を呼ぶ 宮島清盛まつり」が行われました。

今年の清盛役は、広島県観光連盟の深山英樹会長。仮装行列の参加者は、それぞれ平安時代の衣装を身に付け、深山さんの号令で宮島棧橋前広場をスタート。表参道商店街から御笠浜を通過して厳島神社へと向かい、最後は清盛神社へ参拝しました。



雅児の衣装を着た参加者。このまつりは、平清盛の没後770年にあたる昭和27年に、戦後の宮島の再出発を願って始められたものです。

佐方小学校へ時計などを寄附

おめでとうございます 善行表彰

佐方小学校へ壁掛け時計、空調機器、図書一式を寄附されたことにより福原郁子さん（山口県・周南市）が廿日市市表彰条例に基づき善行表彰を受けられました。（3月26日付）

佐方小学校の校医であった姉の杉原満知子さんの遺志により、教育振興を目的に寄附をされた福原さん。「児童さんたちからも、心のこもったお礼状をいただき、うれしく思っています」と話してくれました。



眞野市長から表彰状を受け取る福原さん。「姉の遺志で行ったものです。表彰状は霊前に供えたいです」と話してくれました。



ターゲット広島の皆さん
今年から「ターゲット宮島西部クラブ」とチーム名を変えたそうで、代表の竹廣保さんは「今年も優勝を狙っていきます」と話してくれました。



人形劇 どんぐり座の皆さん
どんぐり座代表の谷桂子さんは「たくさんの方の顔に支えられてここまで来ることができました。人形たちも喜んでます」と話してくれました。

地域づくり“ほっと”情報コーナー開設

地域づくりの活動情報 発信スペース開設

市役所1階ロビーに「地域づくり“ほっと”情報コーナー」を4月8日から開設しました。

この情報コーナーは、市内の地域づくりの活動を市民の皆さんへ周知するためのスペースで、地域の情報誌やイベント情報を閲覧することができます。

廿日市市町内会連合会の橋本節男会長は「これをきっかけに町内会などの地域活動に興味をもってほしいです」と話してくれました。



パネルを掲げる橋本会長（写真左）と眞野市長（写真右）。市役所へお立ち寄りの際は、ぜひ自分の住む地区の活動をご覧ください。

はつかいちさくら賞

市の生涯学習の普及・推進に貢献

「はつかいちさくら賞」は、市の生涯学習の普及・推進に貢献した個人や団体を表彰するもので、4月7日、はつかいち桜まつりの会場で次の2団体を表彰しました。

ターゲット広島

第26回全日本シニアソフトボール大会、第30回全国シニアソフトボール沖縄読谷村大会で優勝。また、多くの大会で優秀な成績を収められました。

人形劇 どんぐり座

長年にわたり、手作りの人形劇による地道なボランティア活動を続けられ、地域の文化の向上と青少年の健全育成など、広く生涯学習の普及と推進に貢献されました。

姉妹都市提携15周年記念植樹

友好の15年を記念し、桜の樹を植樹

廿日市市とニュージーランドのマスタートンの姉妹都市提携が今年で15周年を迎えたことを記念し、4月8日に広電廿日市市役所前駅ロータリーで両市長による記念植樹が行われました。

今回植えた樹は桜。ダニエル市長は「以前にはマスタートンでサクラの記念植樹を行いました。今回の訪問で、姉妹都市提携の15年を振り返ることができました」と話してくれました。



サクラの樹の植樹を行うダニエル市長（写真右）と眞野市長（写真左）。桜の品種はウコン。淡い黄色の花を咲かせます。



写真1「若いまちだよはつかいち」にあわせ客席をパレード。写真2ステージに華を添えた山陽学園高等部バトン部の皆さん。写真3けん玉選手権に挑戦する来場者。写真4握手を交わすダニエル市長と眞野市長。写真5、6はつかいちの歌発表で熱唱する新屋まりさん、北川ひろしさん。写真7アーチェリー体験。写真8当日は小雨の降るなか市内外から31,000人が訪れました。

第11回大峰まつり

大峰山登山への安全を祈願して

4月14日玖島・大峰登山口広場で第11回大峰まつりが行われ、参加者は、桜が咲くステージの前で神楽や歌謡ショーを楽しみました。

頂上は360°のパノラマを誇る大峰山。その山を愛する人たちでつくる「大峰1050」が主催。会の名前は1,050mの標高にちなんで付けられたそうです。

会長の矢口信二さんは「けがのないように登山を楽しんで欲しいですね」と話してくれました。



写真は、「ふるさとの風」を熱唱した玖島小3・4年の児童。このステージやトイレなども「大峰1050」のメンバーの手作りだそうです。

第24回はつかいち桜まつり

廿日市市制25周年を盛大に祝う

「第24回はつかいち桜まつり」が4月7日昭北グラウンドで行われました。低気圧による強風も心配されましたが、小雨の降る中無事に開催。廿日市市制25周年という節目を盛大に祝いました。

また、姉妹都市提携15周年を記念し、ニュージーランド マスタートンからギャリー・ダニエル市長が来訪されました。式典の中でダニエル市長は「この美しく、素晴らしい廿日市市に来ることができたことをうれしく思います。中高生の国際交流などを通じて、これからも親交を深めていきたい」とあいさつ。

はつかいちの歌の完成発表では、北川ひろしさんの「新はつかいち音頭 明日へ羽ばたけはつかいち」、新屋まりさんの「夢街道はつかいち」「桜ふぶき」、はつかいち観光親善大使の工谷明子さんによる「津和野街道石畳」が披露されました。

第13代はつかいち観光親善大使誕生

新たな廿日市の顔として、桜まつりでデビュー

新しい廿日市の顔となる第13代はつかいち観光親善大使の2人が新たに決まりました。

「わたし自身、廿日市をもっと好きになり、市民の皆さんにもこのまちを愛してもらえるように頑張ります」と工谷明子さん（29歳・平良）。工谷さんは、市制施行25周年を記念して制作した「津和野街道石畳」を歌う大役も果たし、「歌を通じて廿日市の魅力を伝えたいです」と話す。

東園恵さん（20歳・上平良）は、「まだ知らないことが多いので、いろんなところに行って勉強しながら、市民の皆さんに廿日市を好きになってもらいたいです」と話してくれました。

4月7日に行われた桜まつりでの交代式で前任の親善大使からたすきを引き継ぎ、これから廿日市の魅力をPRしていきます。



写真左から工谷明子さん、東園恵さん。任期の3年間、市内外での観光宣伝やイベントなどで活躍します。